

国連研修将来の糧に

学生5人が県庁で報告

米国・ニューヨーク
の国連本部などへ派遣
する「いしかわ国連ス
タディビジット・プロ
グラム」に参加した学
生五人が二十四日、谷
本正憲知事に研修報告
をし、将来に生かす意
気込みを伝えた。

二月十七・二十八日



研修の報告をする
学生たち 県庁で

に、森重有里彩さん 上智大二年、浦川絵里衣さん 神戸市外国語大二年、平井智也さん 名古屋大四年、山本明希さん 金沢医科大学三年、柚木望希さん 谷本知事は「企業でも海外勤務は当たり前
の時代。プログラムに参加した人とネットワークをつくり、人生に役立ててほしい」と激励した。(松本浩司)

北陸大四年が国連のほか、ワシントンにある金融機関や国際通貨基金(IMF)を訪問した。

森重さんは「自分も頑張れば広がる世界がある」「企業も国内だけでは戦っていけないと感じた」などと代表で報告した。